

主要産地における平成25年産水稻の生育状況等について 第6報 (6月7日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成25年6月7日)

道府県	区分	生育状況等		備考	参考										
		田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)			気象関連公表資料 (気象台等公表資料の抜粋)	生産数量目標			収穫量 (主食用) 24年度	作況指数 24年度					
		平年に対する進捗等				平成25年度	前年度との比較	増減率							
北海道	(生育)	(道全般) 生育はやや遅れているものの活着は順調 (北海道農政部 6月1日現在) (石狩) 移植作業が遅れ、生育は5日遅れている (石狩振興局他 6月1日現在) (渡島) 生育及び移植作業とも概ね平年並みに推移 (渡島振興局 6月1日現在) (樺山) 移植作業は順調で、活着も順調 (樺山振興局 6月1日現在) (後志) 生育は平年より3日遅れ (後志総合振興局 6月1日現在) (空知) 活着は概ね順調だが地域間差が見られる (空知振興局 6月1日現在) (上川) 生育は平年並に推移している (上川総合振興局 6月1日現在) (留萌) 移植作業は遅れたがその後の好天により生育は回復傾向 (留萌振興局 6月1日現在) (胆振) 移植が平年より遅れている地域がある (胆振総合振興局 6月1日現在)		6月のヒメトビウンカ・フタコビヤガの発生量は平年並み、イネドロオウムシの発生量はやや少の予報 (北海道病害虫防除所 5月27日公表)		北海道地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みまたは少ない確率ともに40% (札幌管区気象台 5月23日発表)					572,940	▲ 11,360	▲ 1.9	621,800	107
		青森	(田植)	県全体の田植え進捗状況は97%。平年に比べ2ポイント低かった (青森県 5月31日現在)		県全体の田植終期は5月31日で平年に比べ4日遅かった (青森県 6月3日公表)		東北地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みまたは少ない確率ともに40% (仙台管区気象台 5月23日発表)					259,220	▲ 350	▲ 0.1
岩手	(田植)			全県では概ね田植適期内に田植え作業が終わる見込み (岩手県中央農業改良普及センター-県域普及グループ 5月28日現在)		5月上旬に田植えを行った一部の圃場では活着の遅れが見られたが、5月下旬以降気温・日照時間とも良好に経過しているため全般に活着は良好 (岩手県中央農業改良普及センター-県域普及グループ 5月30日公表)		同上					286,350	3,880	1.4
		宮城	(生育)	生育は平年に比べ1日～2日程度進んでいる (宮城県農林水産部 5月31日現在)		田植後の低温や強風により一部では葉先枯れや活着不良となるものが見られたが、5月下旬の気温が平年より高く、日照時間も多かったため活着が促進され、概ね良好な生育状況となっている (宮城県 6月3日公表)		同上					380,770	7,210	1.9
秋田	(生育)			(鹿角) 田植後の生育は好天に恵まれ順調。 (由利) 活着は良好で順調に生育中。 (雄勝) 活着は概ね良好 (秋田県農林政策課 5月31日公表)		(鹿角) 田植作業は5月29日が終期で平年より4日遅れ (北秋田) 田植盛期は5月24日で平年より4日遅れ、作業の進捗は78% (山本) 田植作業は好天に恵まれ順調に進んでいるもの遅れ気味。 (秋田) 田植盛期は5月22日で平年より7日程度の遅れ。 (由利) 田植盛期は5月19日で平年より4日遅れだが作業進捗は好天により順調 (仙北) 田植作業は盛期に入った (平鹿) 田植作業の進捗は5月30日時点で管内の約80%で終了した見込み (雄勝) 田植盛期は5月27日で平年より3日遅れ (秋田県農林政策課 5月31日公表)		6月のイネミギワバエ、アカスジカスミカメ (斑点米カメムシ類の一種) の発生量は多い予報、いもち病 (粟いもち) の感染量は平年並みの予報 (秋田県病害虫防除所 6月7日公表)					446,430	2,790	0.6
		山形	(生育)	(庄内鶴岡) つや姫の活着は概ね良好だが、茎数の増加が鈍い状況 (庄内総合支庁 5月31日現在) (庄内酒田) 活着は良好、地帯や移植時期などによる差はあるものの全般的には順調なスタート (庄内総合支庁 5月31日現在) 灌水直後の苗立はまずまず。乾田直後は播種期の降雨による播種作業の遅れから出芽の遅れ (庄内総合支庁 5月31日現在) (村山) 活着は概ね良好 (村山総合支庁他 6月1日公表)		東南村山地域で斑点米カメムシ類の幼虫を確認 (山形県村山総合支庁 5月28日公表)		同上					374,200	5,210	1.4
福島	(田植)			田植えの進捗は約40%。直播播種の進捗は約90% (福島県農林水産部 5月15日現在)		田植えでは、低温の影響で作業を見合わせる場所があるなど、遅いところでは5日程度の遅れとなっている (福島県 5月22日公表)		6月のいもち病 (粟いもち)・イネドロオウムシの発生量は平年並みの予報、イネヒメミギワバエ・イネミズゾウムシの発生量はやや少ない予報 (福島県病害虫防除所 5月31日公表)					355,860	▲ 4,470	▲ 1.2
		茨城	(生育)	4月30日に移植したコシヒカリの分けつは順調 (坂東地域農業改良普及センター 5月30日現在) <u>筑西地域 (筑西市・下妻市・採川市) のコシヒカリの草丈は平年に比べてやや高く、茎数は平年並み～やや多い</u> (茨城県農業総合研究センター 6月6日公表)		坂東地域でアオミドロの発生が例年にくらべて多くみられる (坂東地域農業改良普及センター 5月30日公表)		・関東甲信地方の6月から8月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (気象庁 5月23日発表) ・利根川上流の5月の降水量は平年比38%、利根川水系8ダムの貯水率は平年比74% (国土交通省関東地方整備局 6月7日現在) ・那珂川に続き久慈川でも治水対策支部を設置 (国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所 5月24日) ・関東甲信地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表) ・関東甲信地方では、6月12日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み (気象庁 6月7日発表)					348,890	▲ 2,940	▲ 0.8
栃木	(生育)			早期栽培コシヒカリで草丈は平年より長い茎数はやや少ない (栃木県 5月24日現在) 下都賀管内 (栃木市・小山市・下野市・壬生町・野木町・岩舟町) のコシヒカリの草丈は平年より短い、茎数は多い (栃木県下都賀農業振興事務所 5月24日現在)		平年より5月上旬の気温が低く強風の影響もあったことから移植後の活着は遅れた (栃木県 5月28日公表)		・関東甲信地方の6月から8月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (気象庁 5月23日発表) ・関東甲信地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表) ・関東甲信地方では、6月12日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み (気象庁 6月7日発表)					321,550	40	0.0
		埼玉	(田植)	高温障害に対しては6月15日～20日の移植が安全であると指導 (埼玉県中央農業協同組合 5月10日付)		ヒメトビウンカ (イネ絹葉枯病ウイルス保毒虫) の幼虫が平年より多い (埼玉県病害虫防除所 5月31日公表)		同上					156,600	▲ 2,110	▲ 1.3
千葉	(生育)			・生育は地域や田植時期によりばらつきがある ・生育が順調な圃場では目標茎数が確保されつつある ・初期生育が停滞した圃場でも生育は回復傾向 (千葉県農林水産部 6月3日公表)		低温や強風の影響で活着不良や初期生育の停滞が見られた (千葉県農林水産部 6月3日公表)		同上					255,700	▲ 1,000	▲ 0.4
		新潟	(生育)	・5月連休植えのコシヒカリでは低温などにより植え傷みの発生が見られたが、その後の好天で回復し草丈は平年並み、茎数は多い。 5月10日以降植えでは、生育は順調で旺盛 (新潟県農林水産部 5月30日現在) (岩船) 活着は概ね良好、生育は田植時期・苗質・地域により差が大きい (村上農業普及指導センター 5月30日現在) (佐渡) 生育は前年より進んでいる (佐渡農業普及指導センター 5月30日現在) (上越) 植え傷みは少なく生育は順調 (上越農業普及指導センター他 5月30日現在) (長岡) 5月初旬植えでは生育の進みが早いもの、風の強い地域では分けつのは発生は平年並み (長岡農業普及指導センター 5月30日現在)		今月24日までの平均気温が高い確率が50%と予想されていることから、今後は分けつのは発生が旺盛となり、茎数は平年に比べ多めに推移する見込み (新潟県農林水産部 5月31日公表)		・北陸地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (新潟地方気象台 5月23日発表) ・北陸地方では、5月はじめ頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表) ・北陸地方では、6月12日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み (気象庁 6月7日発表)					545,670	▲ 2,910	▲ 0.5
富山	(生育)			(移植) コシヒカリの草丈はやや長く、茎数は多い てんたかくの草丈は長く、茎数は極めて多い てんこもりの草丈は長く、茎数は極めて多い (富山県農業技術課 6月4日現在)		6月のいもち病 (粟いもち)、イネミズゾウムシの発生量は平年並み～やや多い予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表)		同上					196,260	▲ 220	▲ 0.1
		石川	(生育)	(コシヒカリ) 葉齢は平年並～2日早く、草丈は平年並～短く、茎数は平年並～少ない (ゆめみずほ) 葉齢は2日～5日早く、草丈は近年並～短く、茎数は多い (石川県農林総合研究センター 5月28日現在)		コシヒカリでは5月初旬の低温により植え傷みを生じた圃場で分けつのは発生が少ない (石川県農林総合研究センター 5月29日公表)		同上					129,400	▲ 1,640	▲ 1.3
福井	(生育)			(コシヒカリ) 活着は概ね良好、草丈や茎数は平年より小さいが概ね前年並みで全体としては良好な生育 (ハナエチゼン) 5月上旬の低温により活着は遅れたが、その後の気温上昇で全体的に回復してきている (あきさかり) 草丈、茎数は概ね平年並みであるが生育が少し遅れている (福井県他 5月30日現在)		ニカメイチュウの5月中旬のフェロモントラップによる誘殺数は前年より多い、福井平野北部において毎年発生が多い地域では防除が必要 (福井県他 5月24日公表)		同上					133,360	490	0.4
		長野	(生育)	5月中旬以降は高温傾向のため活着は良好 (松本農業改良普及センター 5月27日現在)		高温・少雨に伴う農作物緊急技術対策 (止水確認、計量配水等) を指導 (福井県農業総合指導推進会議 6月5日)		・関東甲信地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (気象庁 5月23日発表) ・関東甲信地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表) ・関東甲信地方では、6月12日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み (気象庁 6月7日発表)					204,400	750	0.4

				t		%	t		
滋賀	(生育)	移植(5月10日)後は高温と多日照で経過したことから活着は良好で、初期生育は順調に進んでいる コンシカリと秋の穂の草丈は平年並み、葉数はかなり多い 新品種「みずかがみ」の生育はコンシカリよりやや早い～同程度 (滋賀県農業技術振興センター 5月31日現在)	葉いもち、ニカメイガの発生量は平年並み、イネドロイムシ、イネミズゾウムシは少の予報(滋賀県病害虫防除所 5月21日公表)	近畿地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平年並みの確率が40%(大阪管区気象台 5月23日発表)	170,380	▲ 810	▲ 0.5	170,300	102
兵庫	(生育)	(東北)5月中旬までの低温により苗の生育にはばつきがあったが、本田での生育は順調 (兵庫)苗の生育は、ばらつきが目立つ (兵庫県環境部 5月31日現在)	いもち病(葉いもち)が発生しやすいと予想 西三河地域では稲穂が多数縮小 兵庫県環境部 6月3日公表	同上	187,940	▲ 1,530	▲ 0.8	188,300	100
岡山	(田植)	5月14日、無人ヘリを用いて鉄コーティング種子の湛水直播を実施(岡山県勝美農業普及指導センター 5月15日)	6月のいもち病(葉いもち)発生量はやや多い予報(岡山県 5月31日公表) 少雨に対する農作物等の緊急技術対策について指導(節水栽培等) (岡山県農林水産総合センター他 6月5日)	・中国地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平年並みの確率が40%(広島地方気象台 5月23日発表) ・中国地方整備局湛水対策本部を設置(5月21日) ・中国地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み(気象庁 6月5日発表) ・中国地方では、6月1日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目中頃から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み(気象庁 6月7日発表)	166,040	520	0.3	169,200	100
広島				同上	134,400	520	0.4	137,400	103
山口			5月のイネミズゾウムシの発生時期は平年に比べてやや遅いと予想(山口県病害虫防除所 5月1日公表)	九州北部地方(山口県含む)の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平年並みの確率が40%(福岡管区気象台 5月23日発表) 山口県を含む九州北部地方梅雨入り(福岡管区気象台 5月27日発表)	116,350	1,990	1.7	114,100	101
愛媛	(田植)	普通期水稲の田植えは高温発熱を回避するために6月15日以降に行うよう指導(愛媛県農林水産部 6月3日公表) (南園そだち)生育は順調(現在は幼穂形成期) (コンシカリ)葉数は少なめで生育速度はやや遅れているが、5月は多照で経過したことから生育は順調(現在は最高分け時期) (JA全農こうち 5月31日現在)	6月のいもち病(葉いもち)の発生は平年並みの予報(愛媛県病害虫防除所 5月28日公表)	・四国地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平年並みの確率が40%(高松地方気象台 5月23日発表) ・四国地方梅雨入り(高松地方気象台 5月27日発表) ・四国地方整備局湛水対策本部を設置(那賀川水系・吉野川水系・観音山川) (国土交通省四国地方整備局 5月22日)	76,180	▲ 80	▲ 0.1	74,500	98
高知	(生育)	(早期水稲) 4月上旬は強風による苗の傷みが多く見られた。移植後は低温による活着の遅れが見られ、草丈は低く、分けつも少なめであったが、今月は晴天が多かったため、生育は回復してきている (普通期水稲) 移植直後は低温の影響で活着が遅れる圃場も見られたが、生育は概ね順調である (高知県病害虫防除所5月月報 6月4日公表)	普通期水稲の移植は6月上旬頃まで続く予定 (高知県病害虫防除所5月月報 6月4日公表)	同上	51,750	190	0.4	57,500	98
福岡			6月のヒメトビウンカ(稲葉枯病)の発生量は平年よりやや多と予想(福岡県病害虫防除所 5月31日公表)	九州北部地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平年並みの確率が40%(福岡管区気象台 5月23日発表) 山口県を含む九州北部地方梅雨入り(福岡管区気象台 5月27日発表)	191,240	290	0.2	185,700	98
熊本	(田植)	JAあまくさ管内では早期米の田植えが3月下旬からスタート JAくま管内では早期米の田植えが4月上旬からスタート JA熊本うき管内では早期米の田植えが4月中旬から本格化 (JAグループ熊本ホームページ)	5月12日に飛来性セジロウカカの初飛来を確認(熊本県病害虫防除所 5月20日公表) 6月のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並みの予想(熊本県病害虫防除所 5月31日公表)	九州南部地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平年並みの確率が40%(鹿児島地方気象台 5月23日発表) 九州南部地方梅雨入り(鹿児島地方気象台 5月27日発表)	197,710	▲ 2,450	▲ 1.2	188,400	97
宮崎	(生育)	早期水稲は4月の低温によりやや遅れ気味であったが徐々に回復している(宮崎県病害虫防除所他 5月27日公表)	6月の早期水稲のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並みの予想(宮崎県病害虫防除所他 5月27日公表)	同上	99,130	▲ 1,810	▲ 1.8	89,400	95
鹿児島	(生育)	早期水稲は4月の低温などで初期生育は遅れたものの、ゴールデンウィーク以降は高温が続いているため生育は回復してきているとの情報(米穀機構調べ)	6月の早期水稲のいもち病(葉いもち)の発生量は平年並みの予報(鹿児島県病害虫防除所 5月30日公表)	同上	115,520	▲ 1,440	▲ 1.2	107,600	96

注1：地方自治体及び先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報で取り纏め並びに取材(平成25年6月7日現在)。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。
注3：前報からの更新箇所は下線で表した。

参考資料：平成24年度水稲の収穫量(農林水産省)、平成25年度米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)、農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道)、病害虫発生予察情報第4号6月予報(北海道病害虫防除所)、北海道地方3か月予報(札幌管区気象台)、5月31日現在田植進捗状況(青森県)、平成25年度病害虫発生予報第3号6月予報(青森県病害虫防除所)、農作物技術情報第3号水稲(岩手県、平成25年度水稲の田植進捗状況について(5月31日現在)(宮城県)、東北地方3か月予報(仙台管区気象台)、平成25年度生育状況報告5月31日号(秋田県)、平成25年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第3号(秋田県病害虫防除所)、つや姫たより第3号(山形県庄内総合支庁)、酒田・飽海日本一米づくり情報第4報(山形県庄内総合支庁)、稲作たより第4号(山形県村山総合支庁)、平成25年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所)、主要な農作物の生育状況(福島県)、平成25年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(福島県病害虫防除所)、リアル生育情報：水稲(茨城県農林事務所茨城地域農業改良普及センターホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/nour/ibandofuku/index.html>)、水稲生育情報(Na.1)(茨城県地域農業改良普及センター)、農研連水稲の生育状況(茨城県農業総合センター農業研究所)、水田に発生するアオミドロ対策について(坂東地域農業改良普及センター)、平成25年度水稲生育診断事業速報No.1(早稲え栽培5月24日調査結果)(栃木県農政部)、下都賀管内水稲技術資料No.3(栃木県下都賀農業振興事務所)、関東甲信越地方3か月予報(気象庁)、彩のかがやきの高温対策について(埼玉中央農業協同組合ホームページ <http://www.ja-sc.or.jp>)、平成25年度病害虫発生予報第2号(埼玉県病害虫防除所)、埼玉県農業気象速報(埼玉県・熊谷地方気象台)、水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部)、水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部)、岩船米生育速報(5月30日現在)(村上農業普及指導センター)、平成25年度稲作生育速報No.1(佐渡農業普及指導センター)、平成25年度上総地域水稲生育速報・コンシカリ(5月30日)(上総農業改良普及指導センター他)、水稲生育速報(平成25年5月30日)(長岡農業普及指導センター)、高温及び少雨に関する気象情報に伴う農作物等の管理対策(新潟県農林水産部)、北陸地方3か月予報(新潟地方気象台)、TACS情報第2号(富山県)、病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所)、平成25年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所他)、平成25年度病害虫発生予報第3号(鹿児島県病害虫防除所)、九州南部・奄美地方3か月予報(鹿児島地方気象台)、梅雨の時期に関する九州南部・奄美地方地方気象情報第1号(鹿児島地方気象台)、国土交通省関東地方整備局ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/river_shihon0000111.html、那賀川・久慈川湛水状況について(国土交通省関東地方整備局常陸河川国連事務所)、中国地方一般河川の湛水情報(国土交通省中国地方整備局)、四国地方整備局湛水対策本部の設置について(那賀川水系・吉野川水系・観音山川)(国土交通省四国地方整備局)、少雨に関する北陸地方気象情報第1号(気象庁)、少雨に関する関東甲信越地方気象情報第1号(気象庁)、少雨に関する中国地方気象情報第1号(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(関東甲信越地方)(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(北陸地方)(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(近畿地方)(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(近畿地方)(気象庁)